

観音寺
第一高校

同窓会報



令和2年度

香川県立
観音寺第一高等学校
同窓会

ご挨拶



同窓会会長 大久保健二
(観一41年卒)



校長 土井理裕
(観一55年卒)



3年生 デカンショ踊り・民謡踊り
(コロナ禍の中 伝統を受け継ぐ) 令和2年9月8日

同窓生のみならず、お便りとなり、お元気が通じ、お過ごしです。1月末から新型コロナウイルスの発生、2月からの学校休業、そして4月の緊急事態宣言、落ちたか？と宣言の解除をしたものの7月以降感染の再拡大、コロナに右往左往する日々が続いています。この間に不安な経過、元の生活に戻りたい気持ちと怖さが交錯し、何とも言い難い毎日が続いています。

私はと言え、趣味のマラソンはすべての大会が中止となり、いつ再開されるか全く目途がたない状況です。音楽も生演奏は5か月以上遠ざかっています。内容は変われど多くの方と同じような生活を強いられているのかなと思います。私の場合一番の気分転換は夕方のランニングです。瀬戸内海を走り夕日を眺めながら海岸沿いや砂浜を走ります(他人が見ると歩いているようかも)。何とも言えず幸せな気持ちになります。思わず手を合わせ、総会をはじめ同窓会活動も多くの行事が中止、そして会議も書面にて決議いた

観音寺一高同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年度までは教頭を務めており、母校観一には二回目の勤務です。校舎等は新しくなりましたが、樟樹が迎え入れてくれる昔と変わらぬ環境の中で「質実剛健」な校風が脈々と受け継がれていることを観一が生が教えてくれます。嬉しい限りです。

さて、観音寺一高の現況についてですが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で、四月十三日から五月三十一日までが学校休業となり、ICT機器を利用しての個人面談や学習指導などにより自宅にて学習に取り組まれました。六月一日の学校再開後は、できないことが多い状況ですが、生徒は日々の学習や部活動に励んでいます。なお、学習の遅れを取り戻すために、夏休みを八月八日、二十四日に短縮しました。また、感染拡大防止のため、観一祭を始め、体育祭、海外科学体験研修(二年理科)など多くの学校行事等を中止しました。

学年等を含め、今年三月における進学実績は、過年度生を含め国立大学に百七名、私立大学にのべ四百二十八名が合格し、ほぼ

くこととなってしまいました。同窓会の目的の一つでもある、会員が集まり親睦を深める機会が残念ながら奪われてしまいました。特に今年には創立百二十周年の大きな節目でもあり、記念式典を中止せざるを得なくなりました。母校においても休校を再開するも、高校総体の中止など3年生にとつては大変悔しい夏となってしまいました。

同窓会としましてはコロナに負けず部活動の支援や育英基金などを通じて母校や後輩への支援を続けて参りたいと思います。どうも、年会費の納入をはじめ変わらぬご支援を

賜りますようお願い申し上げます。なお、振込手数料が80万円を超えています。千円近くかかります。振込手数料が三百円近くなると、振り込み手数料を引いた金額が少なくなります。その分を育英基金の充実・強化などに回したいと考えています。どうか宜しくお願ひ申し上げます。

最後に一日も早くコロナウイルスが収束し、会員の皆様と親しくお会いできること、そして皆様の健康・ご多幸を心よりお祈りいたします。

昨年と同様の結果となりました。東京大学文二類への現役合格もあり、健闘できたと思っております。

二期四年目となるスーパーサイエンスハイスクール(SSHS)事業については、昨年度から指定を受けた科学技術人材育成重点枠(広域連携)事業に加え、課題研究を中心に高い志、科学的探究力、国際性の育成に取り組んで実施しております。研修等についてはオンライン等で実施しており、七月には理科三年生がSSH課題研究発表会等を、九月には第二回FESTAT(全国統計探究発表会)を実施しました。十二月にはTDI(東京データイノベーション研修)を計画しています。

十一月には理数科二年生がオンラインでデュアルテ高校と交流する予定です。また、ウエブ審査となったSSH生徒研究発表会(全国大会)では「生物(植物・農学系)分野」の発表が上位六校による最終審査に選ばれ、昨年度の「数学・情報分野」での発表に引き続き審査委員長賞を獲得しました。二年連続の受賞は全国で三校目の快挙です。

部活動については、県高校総体を始め学芸部の全国大会やコンクール等の多くが中止となり、運動部では、多くの競技で代替大会が開催され、十三の部活動が参加しませんでした。なお、七月以降の開催を待たずに部活動からの引退を決めた三年生も多くなります。サッカー部がベスト8への進出、野球部が三回戦への進出を果たしました。学芸部については、全国総合文化祭がウェブでの開催となり、美術部、写真部、邦楽部が動画で参加しました。吹奏楽部は、第五十九回サマーコンサートを九月に参加者限定で開催しました。

コロナ禍においても、これらの成果を生かすべく、これからも確かな学力と心豊かたを、引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

出会いの中に感動と感激を、
出会えたことに感謝の念を

観一高同窓会大野原支部会長

篠原公七

(観一42年卒)



古希を過ぎた私ですが、観一高の思い出としては、総体の柔道団体戦で県ベスト4となり、四国インターハイ出場のため高知県須崎市を訪れた際、同市で喫茶店を経営していた観音寺出身の方にお招きいただき、深い郷土愛と人情に触れ、大変感動したことを今も鮮明に覚えています。

また、大学生の時、日本橋三越本店で開催された観一東京支部同窓会で、故大平正芳衆議院議員(第六十八代内閣総理大臣)、故松田伊三雄三越社長にお会いし、その感激で胸が熱くなり、自分が観一高卒業生であることに自信と誇りを感じたことが忘れられません。

私は、大学卒業後、千葉県で獣医師として勤めたあと、長年の夢だった精肉販売と肉料理専門の「レストハウス」の「らー」を大野原町で昭和四十九年に創業し、社業に取り組み一方、私を育ててくれた地元にも少しでも恩返しできればとの思いから、商工会、獣医師会等の活動を通じて地域の活性化に取り組んで参りました。振り返ってみれば、昭和六十三年に第八代全国商工会青年部連合会会長として、地域の皆様方の温かいご支援のもと、平成三年から二十年間にわたり県議会議員を務めました。この間、常に観一高の良き恩師、友人たちが私を支えてくれたの出会いが私を育ててくれたと感謝しております。

さて、現下の地方経済は、人口減少など社会情勢の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で大変厳しい状況にあります。こうした逆境を乗り越え、地域の方々や事業者の皆さんが元気を取り

戻し、真の地域活性化に繋げていくために、団塊の世代の私たちがこれまで培った人脈・ネットワークを活用し、お互いに切磋琢磨することが不可欠の思いで、現在、小規模事業者の経営支援や動物愛護活動に県、各市町や関係団体と共に頑張っています。

略歴

- 一九七一年 日本獣医学産大獣医学科卒
- 一九七二年 千葉県農業共済組合連合会 千葉地区家畜診療所
- 一九七四年 レストハウス(のぼら創業)
- 一九八七年 全国商工会青年部連合会会長
- 一九九一年 香川県議会議員(5期)
- 二〇一〇年 香川県議会議員
- 二〇一一年 香川県獣医師会会長理事(現職)
- 二〇一二年 全国商工会連立会副会長(現職)
- 香川県北方領土返還促進協議会 会長(現職)
- 二〇一八年 全国商工会連立会副会長(現職)
- 二〇一九年 日本獣医師会理事(現職)
- 旭日小経章(地方自治功労)

日本学士院賞授賞
決定に際して

岡田恒男

(観一29年卒)



この度、「既存建築物の耐震性能評価と性能改善技術の開発に関する一連の研究」について、令和二年度の日本学士院賞を受賞することとなり、同窓会誌への寄稿の機会を与えていただきました。

日本学士院賞は、日本の学術賞としては最も権威があるとされている賞で、観一を昭和三十六年に卒業された化学の

分野で世界的に著名な玉尾陪平先生が平成十九年に受賞されております。このような名誉な賞をいただけるのは望外のことで、自己紹介も兼ねて、研究の内容を少し説明いたします。私は戦後の昭和二十年に朝鮮(現、韓国)から引き揚げ、笠田小学校、三豊第一中学校(現、豊中中学校)を経て昭和二十九年に観一を卒業し、昭和三十四年に東京大学建築学科を卒業しました。建築学科の出身という、芸術家を連想される方も多いと思いますが、建築学の間口は広く、私の専門は、建築物を地震などに耐えるように丈夫に造るにはどうすればよいのかを研究する建築構造学で、地震工学の分野にも含まれます。

卒業後は大学院に進学し、武藤清先生、梅村魁先生のご指導を受けました。当時、日本の建築物は高さが三十一メートル以下に制限されていましたが、研究室ではそれ以上の高さの超高層ビルの耐震設計の研究が始められていました。その一環として、私は鉄筋コンクリートの柱が地震を受けるとどのように壊れるのか、壊れないようにするにはどうすれば良いのかを調べる研究に携わりました。修士課程を修了し、東京立大学の助手となつたからその研究を続け、昭和四十一年に工学博士の学位を取得しました。

昭和四十二年に東京大学生産技術研究所の専任講師となり、助教、教授、所長を経て平成八年に定年退官したのですが、着任して間もなく私の研究生活に大きな影響を与える出来事がありました。昭和四十三年の十勝沖地震です。耐震建築と考えられていた三、四階建ての鉄筋コンクリート造の新しい学校校舎などが大きな被害を受けたからです。そこで、それまで超高層建築物を目指していた研究を中、低層建築物の耐震性の評価法へ応用する研究へとシフトさせました。その一つが、今回の授賞の対象となつた「既存建築物の耐震性能評価」で、通常、「耐震診断」と言われている建築物の健康診断のようなものです。

研究の成果は、建設省(現、国土交通省)の監修で日本特殊建築安全センター(現、日本建築防災協会)から、昭和五十二年に発行された既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に生かされました。私が原案作成の責任者となり、多くの協力を得て、構造耐震指標(1s)指標：アイエス指標」という数値で耐震性能を表す方法を開発できたからです。

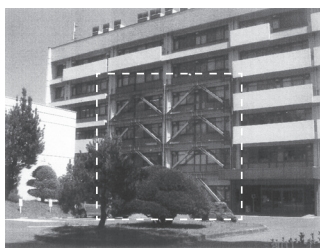
しかし、この基準は、静岡県での東海地震対策には活用されましたが、それ以外にはあまり普及していません。ところが、平成七年の阪神・淡路大震災で様相が一変しました。大破、倒壊など

の被害を受けた建築物の多くが、もし事前に耐震診断を受けていれば補強あるいは建て替えが必要と判定されたと思われ、このため、同年十二月に耐震診断基準の内容が盛り込まれた耐震改修の促進に関する法律が施行された。耐震診断と耐震改修(耐震補強)が全国的に広まり始めました。

私は平成八年に東京大学を定年退官し、平成十五年まで芝浦工業大学工学部の教授として教鞭をとる一方で、日本建築防災協会の会長や理事長を平成二十九年まで務め、その後も顧問として、耐震診断耐震改修の方法の開発・改良、普及、建築技術者の育成などに携わってまいりました。法律制定後、学校校舎などの公共建築物の耐震診断・耐震改修は急速に進みました。写真は耐震補強され、東日本大震災にも耐えた校舎の例です。しかし、民間の建築物の対策が遅れているのがこれからの大きな課題です。

私自身が最近関与した例の一つは、昭和三十三年に竣工し、昨年、基礎免震構法による耐震改修が完了した香川県庁舎東館です。平成二十六年に発足した保存耐震化の検討会議では会長を、改修設計が開始されてから竣工まではアドバイザーを務めました。元の建築を設計した丹下健三先生には大学在学中に設計製図を教わり、構造設計を担当された坪井善勝先生には、構造設計を担当された所に赴任した当初よりご指導を仰ぎました。また、浜田恵造香川県知事は観一を卒業されたプロジェクトでした。

感じたプロジェクトでした。多くのの方々のご指導ご協力とご支援によりこのような名誉ある賞をいただくこととなり、感謝の念に堪えません。これからも建築物の耐震化の促進に少しでも寄与できればと考えています。



枠付き鉄骨ブレースによる耐震補強例

令和元年度 決算報告 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1. 収入の部

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 決算額, 摘要. Rows include 繰越金, 入会金, 会費, 特別寄付金, 雑収入, 合計.

2. 支出の部

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 決算額, 摘要. Rows include 会議費, 広報費, 調査費, 振興奨励費, 育英基金繰出, 旅費, 事務費, 同窓会報等委託料, 同窓会報郵送料, 慶弔費, 雑費, 予備費, 合計.

3. 収支決算

Table with 3 columns: 収入決算額, 支出決算額, 差引残高. Values: 6,932,684, 5,992,697, 939,987.

年度末残高 939,987円 (百十四銀行)

4. 積立基金

Table with 3 columns: 項目, 金額, 種別. Rows include 百十四銀行, 観音寺信用金庫, ゆうちよ銀行.

5. 令和元年度香川県立観音寺第一高等学校同窓会育英基金

Table with 3 columns: 項目, 決算額, 摘要. Rows include 繰越金, 今年度繰入金, 利息, 合計.

年度末残高 2,015,928円 (百十四銀行)

監査報告

関係諸帳簿について、監査の結果、正当と認めます。 令和元年4月3日

監査 石川 義昭
監査 小西裕美子
監査 真鍋 茂明

令和2年度 同窓会役員

(令和2年10月1日現在)

- 会長 大久保健二 (観-41年卒)
副会長 玉尾 皓平 (観-36年卒)
顧問 近井 安雄 (三中15年卒)
支部理事 茨木 教晶 (観-42年卒)
支部幹事 青山 政子 (観-46年卒)
年次理事 秋山 和生 (三中20年卒)
小林 茂文 (観-44年卒)
石井 清満 (観-34年卒)
長船 光生 (観-49年卒)
平口 照明 (観-49年卒)
川崎裕紀子 (観-51年卒)
小野 敬二 (観-H元年卒)
安藤 憲章 (観-26年卒)
新延 修 (観-40年卒)
篠原 公七 (観-42年卒)
松田 行弘 (観-50年卒)
西山 正広 (観-44年卒)
大廣 早苗 (観-42年卒)
木下 政晴 (観-43年卒)
鳴田 英作 (観-29年卒)
小野 清 (観-34年卒)
長船 光生 (観-49年卒)
平口 照明 (観-49年卒)
川崎裕紀子 (観-51年卒)
小野 敬二 (観-H元年卒)
安藤 憲章 (観-26年卒)
新延 修 (観-40年卒)
篠原 公七 (観-42年卒)
松田 行弘 (観-50年卒)
西山 正広 (観-44年卒)
大廣 早苗 (観-42年卒)
木下 政晴 (観-43年卒)
森野 利子 (観-31年卒)
西川 友之 (観-32年卒)
大平寿美子 (観-32年卒)
高嶋 睦徳 (観-33年卒)
菅 美枝子 (観-33年卒)
森 永温 (観-34年卒)
合田千香子 (観-34年卒)
高橋 勝久 (観-35年卒)
森 宣子 (観-35年卒)
合田 俊典 (観-36年卒)
高井寿美子 (観-36年卒)
石川 信義 (観-37年卒)
原 則子 (観-37年卒)
石川 寿夫 (観-38年卒)
拓植弥恵子 (観-38年卒)
三谷 利憲 (観-39年卒)
川上 裕子 (観-39年卒)
新延 修 (観-40年卒)
中野 悦子 (観-40年卒)
請川 裕之 (観-41年卒)
小西裕美子 (観-41年卒)
濱田 友造 (観-42年卒)
野原 康子 (観-42年卒)
横山 耕三 (観-43年卒)
齋藤アヤ子 (観-43年卒)
黒田 俊 (観-44年卒)
茨木 洋子 (観-44年卒)
高橋 昭哲 (観-45年卒)
高岡 令子 (観-45年卒)
渡辺 究 (観-46年卒)
富田 真弓 (観-46年卒)
山西俊一郎 (観-47年卒)
高橋 和子 (観-47年卒)
伊丹 準二 (観-48年卒)
大西時喜子 (観-48年卒)
長船 光生 (観-49年卒)
大森 久子 (観-49年卒)
藤原 正清 (観-50年卒)
横田真由美 (観-50年卒)
田中 靖 (観-51年卒)
大平 規子 (観-51年卒)
五味 賢三 (観-52年卒)
横山 純子 (観-52年卒)
原 将嘉 (観-53年卒)
池田智香子 (観-53年卒)
菅 徹夫 (観-54年卒)
宮下 雅子 (観-54年卒)
香川 政人 (観-55年卒)
石川 淳視 (観-55年卒)
菅 幸二 (観-56年卒)
成行真由美 (観-56年卒)
奥田 拓己 (観-57年卒)
丸尾 聡子 (観-57年卒)
藤田 薫 (観-58年卒)
昌山 恵子 (観-58年卒)
小畑孝一郎 (観-59年卒)
塩田 聖子 (観-59年卒)
吉田 章作 (観-60年卒)
高橋 和江 (観-60年卒)
石川 義和 (観-61年卒)
渡邊久美子 (観-61年卒)
川人裕一郎 (観-62年卒)
白川 泉 (観-62年卒)
河田圭一郎 (観-63年卒)
白川恵理子 (観-63年卒)
篠原 正知 (観-H元年卒)
原 加代子 (観-H元年卒)
壺井 英貴 (観-H2年卒)
森 智子 (観-H2年卒)
宇賀 聖 (観-H3年卒)
高岡恵美子 (観-H3年卒)
事務局長 徳善 久人 (観-47年卒)
事務局次長 田中 英昭 (観-45年卒)
藤川 剛 (観-50年卒)
事務局 貞廣 敦夫 (観-56年卒)
会計 高橋 司枝 (観-42年卒)

支部だより

東京支部

令和二年度の東京支部総会は十一月二十一日を予定していましたが、諸般の事情により、中止しました。その分、「新しい生活様式」も踏まえて、オンラインによるクラブ活動や講演会などに積極的に取り組む考えです。また、それらについては別途、案内をさせていただきます。

支部会長 玉尾 皓平（観一36年卒）
事務局 東京都新宿区百人町
一五一一三一一〇六 牧事務所内
電話（FAX兼）
〇三六四五七七一六〇七七
ホームページ <http://kan1.jp>



三中校歌を斉唱（令和元年度）

京阪神支部

令和元年度京阪神支部総会は、十一月九日（土）「都ホテル尼崎」にて開催されました。当番幹事は観一47年と48年卒の皆さんでした。今年（令和二年度）は、コロナ禍のため中止となりました。

同窓会誌「巨龍24号」は、九月末に発行予定です。
支部会長 片桐 陽（観一34年卒）
幹事長 藤田 修一（観一40年卒）



校歌を斉唱（令和元年度）

岡山支部

本部、あるいはどこの支部も同じでしょうが、令和上半期予定したイベントはすべて中止になりました。新型コロナウイルスのせいです。六月二十日の総会、その前

四月四日、室町から江戸期に朝鮮通信史が立ち寄った瀬戸内市牛窓への史跡巡りも。

十月のゴルフ大会、十一月の三二同窓会「青春会」も中止の方向です。このためそれらの活動を紹介する記事がなく、「岡山観一だより」は休刊しました。寂しい秋です。

松山支部

令和元年度総会を、昨年十一月三十日に国際ホテル松山で開催いたしました。

松山支部では毎年、同窓生に特別講演をして頂いています。今回は「リスクマネジメントについて」を支部の役員でもある倉本逸男氏（観一50年卒）にして頂きました。リスクマネジメントに関する診断、助言、支援等、長年の大手通信会社の管理者の経験を踏まえ老若男女にわかりやすく話をしてもらいました。

松山支部の会長を長年務められた穴吹義教氏（三中22年卒）が七月に亡くなりました。一つの時代に幕が下りた感じです。支部の役員も高齢になり新しい血を導入しなければならぬ時に来ている。又、コロナの関係で今年の支部総会は中止。年に一回の集まりを楽しみにされていた方にはまことに申し訳なく思っています。

高松支部

令和二年の高松支部の総会はコ

コロナ禍のため中止いたしました。本来であれば十月の第一土曜日に開催をしているのですが、感染の拡大が懸念され、役員の皆様と相談の上、大変残念では有りますが、今年の支部総会は中止することに決定いたしました。来年は今年の方も含めて楽しめる様、面白い企画を考えたいと思います。会場の方はいつものクレメントホテルに既に予約を入らせて頂きましたので、大勢の方のご参加をお願いいたします。

高松支部は昨年一部役員の変更をいたしましたのでお知らせいたします。副支部長には西山和子様に変更しまして、浪越敬二様が就任していただき、会計には浪越様に変わりました。藤村晶彦様が就任していただきましたのでよろしくお願いたします。



平成最後の支部総会

丸亀支部

三豊・観一丸亀支部同窓会を令

和元年九月二十一日（土）オーックラホテル丸亀にて開催しました。当日は、同窓会本部からは大久保会長、藤川事務局次長を、学校からは多田校長を来賓としてお迎えし、会員は十一名が参加しました。今年丸亀支部以外からの参加はありませんでした。総会に引き続いて開催された懇親会では、旧知のメンバーによる和やかな雰囲気の中で、近況報告などによりお互いの親睦を深め、楽しく有意義な時間を過ごしました。

総会では、次の通り、役員を選出・決定しました。
会長 三野 末見（観一44年卒）
副会長 矢野 芳樹（観一42年卒）
理事 宮西 文子（観一41年卒）
村山美恵子（観一42年卒）
白川 浩（観一55年卒）
事務局 田尾 秀清（観一55年卒）
土井 理裕（観一55年卒）
なお、今年度の支部同窓会はコロナ禍のため、中止となりました。

善通寺支部

総会が中止、支部活動もできない中、観音寺一高創立百二十周年記念お祝い申し上げます。支部会員の皆様は母校を誇りに思っています。しかし記念すべき時に世界中細菌戦争が始まり家内が脳梗塞で入院しましたが逢う事が出来ずに無力を感じます。三宅前会長が現在を予期した如く百二十周年記念を三年前倒し記念事業をやり遂げ旅立たれました。家族も人も切り離され悲しい支部だよりになりました。

支部会長 佐竹 貢（観一32年卒）

観音寺支部

今年は年明け早々から新型コロナウイルスと対峙することとなり、日を追うごとに全国的な感染拡大の猛威にさらされました。

私たち支部の活動にも影響は及び、九月末開催予定の総会は中止を余儀なくされました。

「支部だより」については今回で三十号と云う節目を迎え、古参の大先輩から平成卒業の若年世代まで多彩な顔触れで八月に発行出来ました。作者の手柄や生き様など人物紹介の場ともなっており好評を得ています。

事務局平口 照明(観一49年卒)

仁尾支部

仁尾支部では、例年のとおり総会を七月に開催するべく準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく中止といたしました。

一方、平成二十六年より続けている読書会は、二か月に一回、偶数月に開催しています。事前に課題図書を読み、その読後感や内容にかかるとピックス等について話し合っています。参加者を増やすことが課題となっています。

事務局渡辺 究(観一46年卒)

山本支部

令和元年当初、山本支部役員会を十名参加で開催。

十一月二十九日に顔合せの為に二十名程度集まってもらって山本町内で懇親会をやることを決定。

十一月十五日(金)役員が体調不良で入院されたことで延期現況コロナ禍で会合を持つことが出来ない為、役員会は出来ておりません

事務局山本 明(観一43年卒)

豊浜支部

本年度は、残念ながらコロナ自粛のために、年に一度支部役員が集う総会さえも、見送りということになりました。

コロナ出現が、年度末と初めの間でしたから、すべての動きを止めてしまいました。令和二年度は活動休止です。次年度は、話の花を咲かせましょう。

支部会長 大廣 早苗(観一42年卒)

大野原支部

令和元年度支部総会は、十月二十七日に、大野原町総合福祉会館で開催しました。

総会議事に引き続いての記念講演では、観音寺市文化財ナビゲーターの久保田昇三様をお招きして、「大野原古墳群の魅力と未来」と題し、古墳まつり(十一月十七日)を控え、時機を得た分かり易いお話を頂きました。

その後、五十名の出席者で懇親を深め、席上「古墳まつり」の発展を期して保存会員登録と募金をお願いする等



支部総会(令和元年度)

大野原の古に思いを馳せた一日となりました。

支部会長 篠原 公七(観一42年卒) 事務局 森 賢晃(観一54年卒)

豊中支部

豊中支部の総会は、五月三十日に予定し進めていきましたが、新型コロナウイルスの影響から急ぎよ四月十八日の役員会で延期を決定いたしました。

令和二年の支部総会の取扱についてどうすべきか模索中です。早急にコロナ禍が終息すれば下期にも開催したいと思っています。

事務局 三野 彰(昭和34年卒)

詫間支部

令和元年度詫間支部総会を十一月十日、三野町の朝日亭で開催。出席者26名。

来賓として本部長の大久保健二様、観音寺一高校長の多田幸平様、本部事務局次長の藤川剛様が出席。物故者への黙とう後、ご来賓のあいさつを頂き、会計及び事業報告、役員改選を行いました。その後、横山シテイボーイズによるオカリナ&ギター演奏を行いました。ギターは亡くなられた横山前市長のもので、好きだった曲「カントリーロード」も演奏され、知っている曲を口ずさみながら楽しい時間を過ごしました。

令和二年度支部総会は中止。支部会長 松田 行弘(観一50年卒)

県庁観一会

令和二年一月三十日(木)、ル

ポール讃岐(高松市中野町)にて総会を開催しました。

現職員のほか、退職した先輩諸氏、来賓として、大久保同窓会長、徳善事務局長、浜田知事、県議会議員の先生、多田校長にも出席していただきました(総勢69名)

クイズ、プレゼン、ト大会も新たに企画し、最後は校歌斉唱を行いました。旧交を温めました。



校歌を斉唱(令和元年度)



県庁観一会(令和元年度)

令和3年度同窓会総会について

次年度の同窓会総会は、観音寺グランドホテルにて令和3年5月30日(日)14時から開催する予定で計画しています。なお、コロナ禍の状況により変更の可能性があります。参加者は、令和3年4月に支部および年次幹事さんに取りまわしていただきますが、個人的に申し込まれる方は、下記の申込書に記入して、観音寺第一高校同窓会係にFAX(0875-25-4145)するか直接ご提出ください。

令和3年度同窓会総会出席申込書

同窓会長 大久保 健二 殿

氏名			
住所	市・郡	町	番地
電話			
卒業年次	昭和 平成 令和	年卒	

令和3年度同窓会総会・懇親会に出席します。

令和3年 月 日

※ 本申込書は令和3年4月以降受付いたします。

母校だより

本校は創立百二十年の歴史を越えて、今新たな世紀へと歩んでいます。「我らに燃ゆる希望（のぞみ）あり。我らに高き矜持（ほこり）あり。我らに重き使命（しめい）あり」の校訓のもと、伝統である質実剛健の気風の中、勉学に、部活動に励んでいます。以下に、学校行事、大学合格状況、部活動状況を挙げてみます。

1. 学校行事



コロナ禍の中での入学式

SSHの取り組み

8月に、全国のSSH指定校が集う全国大会「SSH生徒研究発表会」にて、3年生3名の発表「オジギソウにおける調位運動の意義と機構の解明」が最終審査に進出し、2年連続で審査委員長賞を受賞しました。また、3年生6名がプロサッカーチームの試合データを解析し、「強化策を提案したこと」が報道され、さらに「第3回全国高校生社会イノベーション選手権 問題分析編」で優勝し、「イノベーション編」で審査員特別賞を受賞しました。

7月から9月にかけては、全国の統計データ利活用の課題研究発表大会「FESTAT2020」を本校が主催しました。すべてオンラインで行い、課題研究先進校17高校32チーム、15人の大学教授等有識者、5大学10名の大学生が参加しました。

『観一のSSH』コロナ禍に負けず、ICTをフル活用して研究に邁進し、成果をあげ続けています。



SSH生徒研究発表会2次審査（オンライン）

2. 大学合格状況

() 内は過年度生

北海道大	1	高知工科大	1
北教大岩見沢校	1 (1)	高知県立大	1
筑波大	3	北九州市立大	4 (1)
宇都宮大	1	熊本県立大	1 (1)
電気通信大	1 (1)	◇公立大小計	25 (4)
東京大	1	◇国公立大計	107 (22)
東京農工大	1 (1)	青山学院大	1 (1)
信州大	1	慶應義塾大	1 (1)
静岡大	1	東京農大	3 (3)
浜松医科大	1 (1)	東京理科大	5 (3)
大阪大	5 (1)	日本大	4 (4)
神戸大	1	法政大	4 (4)
鳥取大	2 (1)	明治大	4 (4)
岡山大	10 (4)	立教大	3 (2)
広島大	3	京都産業大	16
山口大	1	京都女子大	12 (1)
徳島大	7 (2)	同志社大	17 (6)
鳴門教育大	1	同志社女子大	5 (5)
香川大	21 (4)	立命館大	28 (13)
香川大(法)	3 (1)	龍谷大	24 (10)
香川大(経)	5 (1)	関西大	10
香川大(教)	6	近畿大	38 (16)
香川大(農)	3 (1)	関西学院大	20 (9)
香川大(創造工)	2 (1)	甲南大	2 (1)
香川大(医・看護)	2	神戸学院大	4
愛媛大	8 (1)	神戸女子大	4
高知大	3	武庫川女子大	6
九州大	1	川崎医療福祉大	10
九州工大	6 (1)	清心女子大	7 (1)
佐賀大	1	広島国際大	2
◇国立大小計	82 (18)	徳島文理大	6 (1)
高崎経済大	1 (1)	高松大	6
長岡造形大学	1	四国学院大	8 (3)
大阪市立大	1 (1)	松山大	17 (5)
大阪府立大	1	その他の私立大学	161 (34)
兵庫県立大	1	◇私立大小計	428 (127)
島根県立大	2	◇私立短大小計	6
岡山県立大	1	職業能開大	1 (1)
尾道市立大	1	四国職能大	2 (2)
県立広島大	1	◇準大学小計	3 (3)
福山市立大	2	◇各種学校小計	13
下関市立大	2	◎合計	557 (152)
香川保健医療大	3	◇就職	4
愛媛医療技術大	1		

進路指導部から

昨年度は、センター試験が最後となり、新しい共通テストに対する不安から、全国的に安全志向の入試となりました。しかし本校では、多くの生徒が自分の進路目標の実現を目指してよく努力し、東京大学、大阪大学などの難関国立大学に10名を超える生徒が合格したり、100名を超える生徒が国公立大学に合格したりするなど、上の表のような結果を残すことができました。

今年度は、共通テスト導入に加え、新型コロナウイルス感染による休校などがあり、生徒たちは昨年以上の不安を抱いているようです。そこで、授業確保と情報提供に努め、生徒達が安心して自分の目標を達成できるよう学校をあげてサポートしています。

部活動状況

運動部

県総体 代替大会等

■陸上部

棒高跳 二位 安藤 正紀
三位 香川 晴哉

やり投 二位 森安 俊介
三位 光高 拓三

【女子】

やり投 三位 大西 咲綺
七種競技 二位 大西 咲綺

■バスケットボール部

【男子】 二回戦 34-54 (丸亀)

■バレーボール部

【男子】 二回戦 0-2 (坂出工業)

【女子】

一回戦 0-2 (丸亀城西)

■卓球部

【男子】 個人シングルス 三回戦進出 國本 慶一郎
二回戦進出 小前 勇斗
白川 旭
白井 翔大

■ソフトテニス部

【男子】 個人 出場
【女子】 個人 出場

■サッカー部

ベスト8進出
一回戦 1-1 (高松南)

(PK 4-2)

■柔道部

【男子】 個人73kg級 出場 千秋 海翔

■剣道部

【男子】 団体 一回戦 2-3 (観総合)

【女子】

一回戦 0-4 (高松東)

■弓道部

【男子】 団体 ベスト8

決勝進出 久保 裕雅
二次予選進出 池田 伊織
出場 薦田 海斗

【女子】

団体 出場

■山岳部

【男子】 団体 出場

【女子】

個人 出場 石川 侑汰

■バドミントン部

【男子】 個人 出場 近藤 有華
ダブルス 近藤 有華
ベスト16 濱田・蜜石

■野球部

二回戦 3-1 (丸亀)
三回戦 3-5 (藤井)

学芸部

■美術部

第44回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 小山 美羽

文化連盟賞 戸城 凜

第21回高校生国際美術展 奨励賞 小山 美羽

■書道部

第49回全国高校書道展 特選 川西 陽奈子
濱田 佳乃

第9回うごん県書道パフォーマンス大会 出場 岡田 涼香
細川 寧々

岡田・宮本・細川・川上・白石・岡崎・齋藤・高橋

■写真部

第44回全国高等学校総合文化祭 写真部門 高津 美咲

文化連盟賞 高津 美咲

第27回全国高等学校写真選手権大会 (写真甲子園2020) 四国ブロック審査会

ブロック賞 近藤・松村・三好

■邦楽部

第44回全国高等学校総合文化祭 日本音楽部門 Web (オンデマンド)での出場

梶・高島・綾・大西・黒川・五味・貞廣・大井・横山・安井・井口・岩田・今井・原井川

定時制

第68回全国定時制通信制生徒生活体験発表大会香川県予選会

優秀賞 篠原 亜麻音

観一祭は中止になりましたが・・・

「デカンショ踊り・民謡踊り」については、「先輩から後輩へと受け継がれてきた伝統行事なので、何とかして今年の3年生にも体験させられないか」との職員の声が多く、学校再開時に、三密の回避を踏まえ、「非公開として、体育の授業において、体操服で、接触を避ける隊形にて実施」を3年生全員に提案したところ、4割近くの生徒が「それでも踊る」と強い参加の意志を示してくれました。生徒からは「密にならないように工夫するので、衣装を着て踊ることを検討して欲しい」との要望があり、最終的には衣装を着て踊ることにしました。9月8日(火)7校時、男子98名、女子97名が、創立120周年を記念して、見事な踊りを披露してくれました。

また、生徒会が中心となって「ウェブ観一祭2020」を、9月20日(日)～22日(火)に、観一生への限定公開として設けました。吹奏楽部の演奏、書道部の書道パフォーマンス、美術部の作品展示など多くの学芸部等が活動の様子を配信しました。また、非公開で行った「デカンショ踊り・民謡踊り」の様相も配信し、家庭でも見ていただきました。1年生233名が作成した巨大なモザイク壁画(8月下旬に公開)も配信され、3日間の再生回数の合計は1万4千回を超えました。



